

私が選ぶ、輝く、私の人生

～だれもが健康で自分らしく生きるために～

問 人権政策・男女共同参画課 男女共同参画担当 ☎ (918) 1311

毎年3月8日は「国際女性デー」で、3月1日～8日は「女性の健康週間」です。

男性と女性、それぞれがお互いの違いを理解して健康づくりに取り組み、尊重し合うことが、だれもが活躍できる社会につながります。

こんなことを聞いたり見たり、経験したことありませんか？

女性の一番の幸せは家庭や子どもをもつこと。

生理くらいで休むなんて。

お子さんはまだ？

妊娠・出産

生理

PMS(月経前症候群)
なんてあるの？

少子化は女性の晩婚化のせい。

墮(お)ろせば
いいじゃん。

生理痛くらい我慢できるよね。
周りの人は我慢しているよ。

妊娠は病気じゃないんだから、
なまけないで。

更年期のせい？言い訳？
なまけたいだけでしょ。

生理や更年期など
話題にしづらいな。

妊活しているのを周囲には言えないな。

妊娠したのは
自分の責任でしょ。

性暴力

性被害にあったのはあなたにも
落ち度があったのでは？

性感染症

性感染症かも。どこに相談したらいいのかな？

付き合っているなら
性行為するのは当たり前でしょ？

デートDV

昔は更年期とか
言てられなかった。

更年期でもハツラツと
している人はいるよ。

更年期



その言動が、**リプロダクティブ・ヘルス/ライツ**を
侵害しているかもしれません。



リプロダクティブ・ヘルス／ライツを知っていますか？

リプロダクティブ・ヘルス／ライツ (Reproductive Health and Rights) とは、1994年にエジプトのカイロで開催された国際人口開発会議において提唱された概念で、「性と生殖に関する健康と権利」と訳され、性や身体のことを自分で決め、守ることができる権利のことです。

リプロダクティブ・ヘルス

子どもを産みたい人は安心して妊娠・出産でき、そうでない場合は避妊や中絶が選択できるほか、子どもの有無に興味を持たない人やアセクシャル(無性愛者・非性愛者)の人も含め、だれもが心身ともに健康で社会的に健全な状態でいられることをいいます。

また、妊娠や出産は女性だけのものと考えられる人が多いかもしれませんが、実際は、すべての人が子どもを産むか産まないかの選択ができ、本人やカップルの意思が尊重される社会を実現することが、リプロダクティブ・ヘルスの成立へつながります。

リプロダクティブ・ライツ

性と生殖に関わる基本的な人権の1つです。産む・産まない、いつ・何人子どもを持つかなど、生殖に関することを自分で決める権利で、妊娠や出産だけでなく、避妊・中絶・母体と胎児の健康を守るための医療アクセスや、だれもが平等に必要な情報やサポートなどを得られることも含まれます。



だれもが
輝き生きる
社会へ

世の中には、望まない妊娠や、安全安心な妊娠・出産環境が整えられないこと、性感染症のリスクなど、さまざまな課題があります。また、自分の身体や性に関する悩みをオープンに相談できず、孤立する人は少なくありません。

リプロダクティブ・ヘルス／ライツは、性別を問わずすべての人に関わるテーマです。一人ひとりがこの概念を正しく理解し、自分の身体や心は自分で守ることから始め、家族や友人など周りの人にもその大切さを伝えていくことが大切です。

相談窓口

詳しくは、市ホームページをご確認ください。

子ども家庭センター ID 35502

●相談内容 妊娠、出産、育児に関すること

(923) 11113

男女共同推進センター相談室 ID 3531

●相談内容 家庭、夫婦、職場での問題に関すること

(918) 1311

市の取り組み

市では、第3次ちくしの男女共同参画プラン(後期)において、リプロダクティブ・ヘルス／ライツの周知、啓発を具体的事業に掲げています。



令和7年度は、講演会「自分と向き合う性教育」性のとらえ方・伝え方」を開催し、講師の益丸 都志子さん(助産師・保健師)が、「性は生きることであり、性教育は自分軸で生きる力を育て、人生を豊かにする」など話をしました。

参加者の声

自分や他人との違いを学び尊重し合うことが、「NO」と言える環境づくりと、自尊心を育てることにつながるのだと分かりました。